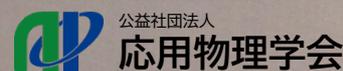


第84回応用物理学会秋季学術講演会 クロスオーバーシンポジウム 「有機エレクトロニクスの開拓と未来展望」

日時： 2023年9月21日（木） 9：00～（終日）



1950年代の赤松先生、井口先生、松永先生のペリレンと臭素による電荷移動錯体の発見以来、人間の手による有機物の導電性を制御する試みが幅広く行われ、日本がこの分野を主導し、現在の有機エレクトロニクスの発展に至っています。

このシンポジウムは「クロスオーバー」をキーワードに応用物理と化学、有機導体と有機エレクトロニクス、基礎と応用など、少し違う立場の研究者同士が交流することで、有機エレクトロニクス分野の新たな展開を探る機会となることを願って開催します。

招待講演ではその先駆者の軌跡から現在の最先端のトピックまでを概観します。一般講演も募集致しますので、この機会に様々な分野の研究者が集い、議論を深めていただければ幸いです。



詳細はシンポジウムWebページにて
<https://chemistry.edu.shimane-u.ac.jp/JSAP2023/>

発起人 八瀬 清志（産業技術総合研究所）
世話人 長谷川 裕之（島根大学）
調整役 丸山 伸伍（東北大学）
横倉 聖也（北海道大学）
小篁 剛（兵庫県立大学）

招待講演（順不同）

石黒 武彦 先生	京都大学名誉教授	有機導体・半導体の三四半世紀
森 健彦 先生	東京工業大学物質理工学院 材料系	電荷移動錯体を用いた有機エレクトロニクスの可能性
瀧宮 和男 先生	東北大学大学院理学研究科・AIMR・RIKEN CEMS	分子性半導体の結晶構造：制御と予測
芥川 智行 先生	東北大学多元物質科学研究所	強誘電性有機半導体の開発
山本 浩史 先生	分子科学研究所	有機強相関電子デバイスの現状と今後の展開
原田 潤 先生	北海道大学大学院理学研究院	柔粘性/強誘電性分子結晶の開発
南 豪 先生	東京大学生産技術研究所	有機トランジスタを用いた化学センシング
中村 雅一 先生	奈良先端科学技術大学院大学	超フレキシブルエレクトロニクスを目指して
内藤 俊雄 先生	愛媛大学大学院理工学研究科	未知のデバイスを目指した機能物質開発
長谷川 達生 先生	東京大学大学院工学系研究科	分子秩序化を使いこなす有機エレクトロニクスへ

※講演題目は仮題につき、変更の可能性があります。